

平成 24 年度第 2 回 海岸工学委員会幹事会議事録

開催日時：平成 25 年 4 月 19 日(金) 14:00～16:00

開催場所：土木学会 2 階 A 会議室（東京都新宿区四谷 1 丁目 外濠公園内）

出席者：以下の 23 名の委員長，幹事長，小委員長，副小委員長，委員兼幹事

間瀬委員長，後藤幹事長

青木，水谷，森，横木の各小委員長，川崎，小林，佐々木，渡部の各副小委員長

小笠原，柿沼，北野，栗山，佐藤，諏訪，高木，武若，丹治，松山，陸田，森屋，山城の各委員兼幹事

資料：

- ・平成 24 年度第 2 回海岸工学委員会幹事会の議事（資料 1）
- ・第 59 回海岸工学講演会報告（資料 2）
- ・海岸工学講演会開催地一覧（資料 3）
- ・水工学に関する夏期研修会開催一覧（資料 4）
- ・PowerPoint スライド（資料 5）

■議事前報告事項

1. 委員の交代について（後藤幹事長）

- ・土木学会論文集（B 部門）合同編集小委員会：次期委員長に水谷小委員長，委員は森委員から原田編集幹事に交代
- ・ISO 特別委員会委員：港空研・下迫領域長
- ・環境システム委員会リエゾン委員：佐々木委員から横木委員に交代

2. H25 年度・重点研究課題助成（後藤幹事長）

- ・海岸工学委員会からは応募していないこと，および採択課題（2 件）が報告された。
- ・次年度以降，各小委員会で応募課題を検討する。

3. 第 59 回海岸工学講演会報告（陸田委員兼幹事）

- ・配布資料（資料 2）をもとに，講演会参加人数，懇親会参加人数，見学会参加人数，会計等が報告された。
- ・最近の講演会では参加者が多かったことが報告された。

4. 水理公式集改訂（間瀬委員長・後藤幹事長）

- ・水工学委員会との協議で，海岸分野は海岸工学委員会の方針を決めることとなったことが報告された。
- ・間瀬委員長・後藤幹事長で相談の上，公式集の目次案・執筆者案を作成する。
- ・著者については，後日連絡する。

5. 100 周年記念事業関連（間瀬委員長・佐藤委員兼幹事）

- ・海岸工学委員会の申請「津波・高潮の水位標識の設置および沿岸防災意識の普及促進」が採択され，今年度から実施することとなった。
- ・今年度は南淡路市で実施予定（担当は奥村助教(京大)）。

■審議・報告事項

1. 第60回海岸工学講演会（海岸工学論文集第60巻）応募論文審査について（北野委員兼幹事・後藤幹事長）

①第1段審査について

- ・投稿の状況，査読者の選定，スケジュール，審査結果について報告があった。
- ・登録論文数は昨年と同程度で403編（変更論文の削除忘れ1編，全文英語1編の辞退論文2編を除く）
- ・第1段審査通過論文は合計303編（266+37）。
- ・第1段審査の評点の分布，査読者の採点（平均点）の分布，採択率（全体，分野別）が示された。今年度の第1段審査の採択率は75.2%であった。

②内容が著しく重複する投稿論文の取り扱いについて

- ・内容が著しく重複する論文が投稿された場合の対処について議論された。

③第2段審査について

- ・これまでのA,B,C,Dの4段階の審査からBがAに統合され3段階の評価になり，それに伴って，査読システム内の表示が変更されたことが報告された。
- ・第2段審査のスケジュールについては，査読締め切り6月5日，査読括締め切り6月12日となり，ウェブの情報よりも日程が延びることが説明され，ウェブの情報も修正することとなった。
- ・第2段審査の原稿投稿時に，これまでExcelで提出していた原稿提出明細書（BIB情報）をWEBで入力する準備を進めていることが報告された。

④その他

- ・投稿された原稿のうち，WORDの数式エディタ以外で作られた数式は出版社で打ち直しているため誤植が生じやすく，著者校正時の修正が増えるとの説明があった。
- ・国際セッションは18件の投稿があった。
- ・著者負担金は例年通り40,000円を上限とし，ウェブにも掲載しているが，可能な限り35,000円に抑える。論文集代は5,000円。

2. 第60回海岸工学講演会の準備状況について（山城委員兼幹事）

- ・日 程：2013年11月13(水)～15日(金)
- ・会 場：九州大学医学部百年講堂・小講堂・同窓会館 5会場（中日は国際セッションを含む6会場）
- ・懇親会：ホテルセントララーザ博多 11月13日(木)18:30-20:30（予約済み） 会費7000円（予定）。
- ・見学会：講演会の前日に博多港見学ツアーを予定。参加定員については手配可能な船と予算を考慮して決定する。
- ・その他：後援依頼は委員長名で事務局（岩西氏）から相手先に送付する。
前日シンポジウムを開催予定。

3. 第61・62回海岸工学講演会の開催（会場など）について

①第61回海岸工学講演会について（水谷小委員長）

- ・日 程：2014年11月12(水)～14日(金)
- ・会 場：ウイंकあいち（予約済み）
- ・懇親会：キャッスルプラザ 11月14日(木)（予約済み）

- ・見学会：以下のコースを候補として検討中。
 - A 名古屋港+飛島コンテナターミナル（船は名古屋港管理組合に依頼）
 - B 藤前干潟+輪中の郷+長良川河口堰（+なばなの里）
 - C 浜岡原子力発電所防波壁（中部電力による対応）

・その他：受付および展示用に会場（会議室）が必要。

②第 62 回海岸工学講演会の開催地について

- ・第 62 回海岸工学講演会の開催地について、過去の開催地（資料 3）に基づいて関東地区で行うこととなり、具体的な開催地については関東地区の委員で検討されることとなった。

4. Coastal Engineering Journal について（水谷小委員長、佐々木副小委員長）

- ・昨年度の出版状況について、東北太平洋沖地震津波に関する特集号で 12 編、通常号で 12 編の計 24 編が出版されたことが報告された。
- ・各年度の投稿数とその国別の内訳について説明があり、2012 年は 50 編、2013 年は 17 編（4 月 8 日現在）であることが報告された。

5. 各小委員会等の活動について

①広報小委員会（森小委員長）

- ・WEB 情報を充実させるため、災害 DB の補充（済）、海岸工学関連の本、若手の会（今年で 20 回）および見学会の記録の情報を掲載することが説明された。
- ・一般向けにアウトリーチの充実を図ることが説明された。

②沿岸域小委員会（後藤幹事長）

- ・流域圏シンポジウムの報告があった。
- ・沿岸環境関連学会連絡協議会 第 28 回ジョイントシンポジウムの案内があった。

③数値波動水槽小委員会（後藤幹事長）

- ・なし

④地球温暖化適応策検討小委員会（横木小委員長）

- ・なし

⑤地震・津波複合災害の推定手法および対策研究小委員会（後藤幹事長）

- ・本小委員会は地震工学委員会と海岸工学委員会の連携小委員会であり、2012 年第 1 回委員会および地震工学委員会において延長が承認されたことの説明があった。
- ・2013 年度の活動予定として、第 3 回委員会に加え、海岸工学講演会の前日シンポジウムを検討中であることの説明があった。

6. 第 49 回・50 回水工学に関する夏期研修会（B コース）開催について

①第 49 回水工学に関する夏期研修会について（北野委員兼幹事）

- ・期 日：8 月 26 日(月)～8 月 27 日(火)
- ・場 所：名古屋工業大学 52 号館 5212 教室
- ・テーマ：「伊勢湾台風級高潮と巨大地震津波を考える」

- ・講師には依頼済み.

②第 50 回水工学に関する夏期研修会について（後藤幹事長）

- ・第 50 回については水工学委員会が担当であるため、開催地区等の連絡を受けた後にその地区の委員で対応する.

7. その他

①討議集について（後藤幹事長・渡部副小委員長）

- ・昨年度に講演会の討議で、紙媒体での提出を止め WEB での入力のみにしたところ、討議の数が 45%減った。しかし、当初の予想ほどの激減ではなかったので討議集は継続する.
- ・WEB で投稿しても、プリントして封筒に入れて著者に送るため労力はそれほど軽減しない.
- ・編集の労力を削減することを優先すると、討議内容をメールで著者に自動的に送れるような機能が効果的と考えられる.
- ・まずは、査読システムの構築・保守を依頼している業者（ジュオン）に対応の方法・費用等について問い合わせ、その結果をもとに検討することとなった.

②海岸工学委員会と Taiwan Society of Ocean Engineering 間の MOU について（間瀬委員長）

- ・5 月に来日し、港空研と MOU を締結、東大・京大・早稲田大学等を訪問する予定。先方は海岸工学委員会および海洋開発委員会とも MOU を締結したいという意向がある。先方が来日した際に意向を確認し、海岸工学委員会としての対応について協議する.
- ・海洋開発委員会と共に MOU の締結に同意することになれば、土木学会として締結することになる.

③次回委員会について（後藤幹事長）

- ・次回の委員会からは新体制となり、委員長選挙が行われる.

次回の海岸工学委員会は、6 月 19 日(水)14:00 開始

記録(山城)